

キャッチフレーズ お客様の期待を超えたサプライズを！満足度120%納品を目指しています。

I. 経営理念(企業ビジョン)

最新設備と高い技術で多品種少量生産、一括受注！
もの作りに夢を持てる社内環境を作り、社員全員が夢を持てる会社(夢工場)にします。夢を持った社員が熱い気持ちと情熱で、高い技術と優れた製品を提供し、社会に貢献します。品質を向上するため、蓄積した経験と若い力を結集し継続的に改善活動を実施していきます。品質・コスト・納期に対するお客様のご要望に誠意をもって迅速に対応いたします。

II-1. 企業概要

【代表者】 代表取締役 安藤 準一
【本社】 〒239-0836神奈川県横浜須賀市内川1丁目7番23号
【電話番号】 046-838-4860 FAX : 046-838-4861
【事業内容】 各種金属製品の切断、穴あけ、折曲、溶接加工、
鉄道車輛・輸送車輛備品加工、等
【従業員】 8名
【URL】 http://anateck.jp/hp/

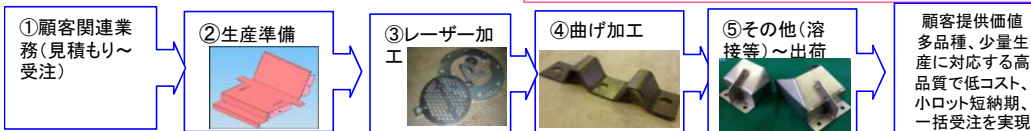
II-2. 沿革

- ・2007年 8月1日 ANATEック(株)設立
- ・2014年11月 3次元CAD/CAM導入
- ・2015年1月 読売新聞 キラリ企業として記載

II-3. 受賞歴・認証・資格等

- ・2011年12月ISO9001/2008認証取得
- ・平成24年度補正事業 ものづくり中小企業・小規模事業者支援補助金 採択
- ・平成25年度補正事業 ものづくり中小企業・小規模事業者支援補助金 採択
- ・平成26年度補正予算事業 小規模事業者持続化補助金 採択
- ・2015年9月横須賀スタートアップオーディション入賞
- ・平成26年度補正事業 ものづくり中小企業・小規模事業者支援補助金 採択

III-1. 内部環境(業務の流れ)



業務の流れ	他社との差別化に繋がっている取組
①顧客関連業務(見積もり～受注)	新規顧客獲得に向けビジネスマッチング、その他の場に積極的に参加。少量多品種への対応力。
②生産準備(顧客図面/CADデータ、生産指示)	3次元CAD・CAMを利用し従来の図面を展開するプロセスと客先データを利用するプロセスにより様々な要望に応える事ができている。
③レーザー加工	鉄は22mm・ステンレス12mm・アルミ10mmの板厚を常に在庫し即納品出来る態勢が整っている。
④曲げ加工	複雑な形状の製品を一体物にて加工し溶接工程の短縮を図っている。
⑤その他(溶接等)～出荷	
顧客提供価値	多品種、少量生産に対応する高品質で低コスト、小ロット短納期、一括受注を実現。

III-2 内部環境(強み・弱み)

【自社の強み】

- ・3次元CADに対応する高い技術。
- ・平均年齢28才の若い社員と人材育成に力を入れている。
- ・多品種、少量生産、短納期への対応力。
- ・金属製品の切断から最終組立まで一括受注ができる。
- ・社員が夢を持って仕事に打ち込める場(夢工場)の提供。
- ・IT(社内ネットワーク)を積極的に活用している。

【その理由・背景】

- ・地域貢献活動にも力を入れている。(地元の中学生への職業体験の実施)
- ・横須賀の産業まつりへの参加で製造業界をアピールしている。
- ・複数の団体に加入し情報交換をしている。
- ・社員の個人別にキャリアプラン(成長計画)を活用している。
- ・インテリアデザインコンペで表彰作品を当社の工場にて、実際に制作を実施。

【自社の弱み】(経営課題)

- ・自社ブランド製品がない。
- ・製品の付加価値を高めること。
- ・経験不足。
- ・加工時の不良品が多い。
- ・受注増加時の納期管理。

【その理由・背景】

(This area is currently blank in the image)

IV. 外部環境(機会と脅威)

機会	取組の優先順位
・顧客の拡大。(ネットの活用)	1
・日本の優秀なモノづくり企業への回帰。(為替変動等による)	2
脅威	取組の優先順位
・同業他社との競合。	1
・金属加工中小零細企業への優秀な人材の確保。	2
・補助金制度の今後。	3
・明治の時代からここ横須賀の地は「ものづくりの街」であったが衰退を感じている。	4

V. 今後のビジョン(方針・戦略)

外部環境と知的資産を踏まえた今後のビジョン	①	従業員の創意でダントツ品質、納期、コストを提供する夢工場を実現する。
	②	独自ブランド製品の開発。
	③	次世代を担う子供たちへ、夢のある職場をつくること。
今後のビジョンを実現するための取組	①	洗練されたデザインと匠のものづくりを融合した製品を生み出すプラットフォームを作ること。
	②	「ものづくり」にやりがいを持ってもらう環境づくりに貢献すること。
	③	次世代を担う子供たちへ、夢のある職場をつくること。

VI. 価値創造のストーリー

	【過去～現在のストーリー】 (年～2015 年) 知的資産の活用状況	【現在～将来のストーリー】 (2016年～2018 年) 知的資産の活用目標
知的資産・PKI	人的資産 ※従業員が退職時に一緒に持ち出す資産(ノウハウ、技能、経験、モチベーション、経営者の能力など) ・経営者の夢工場実現のための行動 ・若い従業員と能力 社員数8名 ・3次元CADの高い知識 (資格者1名) ・外部資格取得率	人的資産 ・経営者の夢工場実現のための行動 ⇒継続 ・若い従業員と能力(社員数 ○○名) ・3次元CADの高い知識(資格者 ○○名) ・外部資格取得率
	構造資産 ※従業員の退職時に企業内に残留する資産(システム、ブランド力、もうかる仕組みなど) 顧客の高いレベルの要望に対応するシステム ・最新鋭設備(3次元CAD、高性能バリ取り機、アルミ溶接材ロボット ・今年導入予定等)を使用した高い技術力 補助区金制度の活用3件 ・ISO9001(品質)の実務との完全融合によるレベルの高い経営管理力 ISO認証の継続	構造資産 ・技術力維持改善のためのプロセスの強化。 ・高技能者の育成 ・ISO国際規格の維持活用(理解者の拡大)
	関係資産 ※企業の対外的関係に付随した全ての資産(販路、顧客・金融機関などとの関係など) ・横須賀の各種団体への参画(産業クラスター研究会、横須賀工業振興協会等) ・各種ビジネスマッチングへの積極的参加 参加回数 4回/年 ・地元少年サッカーチーム(1999年設立)への貢献(コーチ面、経営面で参画)	関係資産 ・各種団体への参画(継続、拡大) ・デザインコンペへの貢献(継続) ・地元少年サッカークラブチームへの貢献(継続)
その他		その他

【現在】
・売上高: ○○ 円

【将来】
・売上高: 現状比 △△%アップ